

令和2年度射水市国民健康保険運営協議会

会 議 録

- 1 日 時 令和3年2月4日(木)
開議時刻 16時00分 閉議時刻 17時20分
- 2 場 所 射水市役所本庁舎 401会議室
- 3 出席委員 12名
被保険者代表 石黒勝久、尾上清逸、中田正憲、岡田静子
医師・薬剤師代表 木田和典、島多勝夫、奥村俊晴、摂津樹
公益代表 二瀬保邦、塚本清(会長)、亀谷順子、森下恵子
- 4 欠席委員 0名
- 5 当局の出席者
 - ・福祉保健部長
 - ・福祉保健部次長
 - ・収納対策課長
 - ・保険年金課長
 - ・保険年金課長補佐
 - ・国保・年金係員2名
- 6 会議日程
 - 1 開会
 - 2 会長挨拶
 - 3 市長挨拶
 - 4 諮問
射水市諮問射保第3号 射水市国民健康保険税の税率改正について
 - 5 議題
 - ・射水市諮問射保第3号について
令和2年度射水市国民健康保険事業特別会計決算見込について
令和3年度射水市国民健康保険事業特別会計予算(案)について
 - ・令和3年度射水市国民健康保険事業計画(案)について
 - ・射水市諮問射保第3号に対する答申(案)について
 - ・第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の中間評価について
 - 6 閉会

〔会議内容〕

- 1 開 会 保険年金課長より開会宣言
- 2 会長挨拶 塚本会長挨拶
- 3 市長挨拶 夏野市長挨拶
- 4 諮 問 夏野市長から諮問書の交付
- 5 議 題 (事務局資料説明)

- (1) 射水市諮問射保第3号 射水市国民健康保険税の税率改正について
 - ・令和2年度射水市国民健康保険事業特別会計決算見込について
 - ・令和3年度射水市国民健康保険事業特別会計予算(案)について
- (2) 令和3年度射水市国民健康保険事業計画(案)について
- (3) 射水市諮問射保第3号に対する答申(案)について
- (4) 第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の中間評価について

6 協議・意見交換

- (1) 射水市諮問射保第3号 射水市国民健康保険税の税率改正について

委 員 最終的には保険税率を県の水準にあわせていくとなると事務局が示した国民健康保険税率改定案に加えて、まだまだ上がっていくのか。

事 務 局 将来的には県で統一の保険税率になっていくと思われる。現在の射水市の保険税率は、県内市町村の中でも低い税率なので、県で統一の保険税率に近い形にいかにつけていくことができるかという段階だと考えている。

委 員 現在の射水市の保険税率は県下でも低いということで、令和5年度までに県の保険税率の水準に近づけていくとの話であった。令和6年度以降は、県統一の国民健康保険税率になるのだから、県が示した保険税率になっていくのでよいか。

事 務 局 県統一の国民健康保険税率がいつから開始されるかについて、今後、県と県内市町村で協議していくことになる。標準保険料率にいかにつけて持っていけるかということになる。

事 務 局 現在、納付金の設定は各市町村の医療費水準を勘案して設定されている。射水市の納付金の金額は、県内市町村の中でも、真ん中

よりも少し下である。今後、県内で保険税率水準を統一していくことになると射水市は保険税率が上がっていく方向の市町村になると考えている。保険税水準の統一の時期は不明である。

委員 新聞には県統一の保険料水準に合わせなさいと厚生労働省が示したという記事が載っていた。前回の運営協議会で話をした内容に沿った形で進んでいるということを感じていた。

委員 県下で保険税率を統一するにあたり、射水市の保険税率が下がれば良いと思うが、反対に上がってしまう状況になっている。今までは、射水市の保険税率が低くて良かったが、将来的に県下で保険税率を統一していくことを考えると、射水市の保険税率を上げていかないと都合が悪くなっている。最終的には、県の保険料水準にあわせないといけないので、その間に少しでもすりよっていかせなければならないというのが、委員の皆さんが思っていることだと思う。

事務局 現在の射水市の保険税率が低いので、まずは射水市の水準で保険税率を上げなければならない。

委員 保険税率を上げることで基金残高も増えて、何かがあった時には使うことができる。

委員 諮問書の写しの内容が、改定案の「案2」になっているので、「案2」で決まっているということか。「案1」や保険税率に関することも、前回の協議会で話があったかと思う。「案2」で決定事項であるという諮問なのか。

事務局 市としては「案2」で進めていきたいという思いであり、今回、諮問した内容で、運営協議会の意見をいただきたいということで進めてきたところである。

委員 県の水準に合わせるということだが、県で水準はどのように決めて、おそらく平均値が水準になってくると思うが、その場合に将来、水準よりも高い市町村は下げないように努力しなさいとなり、多分、恣意的なことがいろいろ言われてくると思うが、その辺りどう考えているのか。

事務局 医療費自身の伸びが増えることにより、被保険者の保険税負担が重くなっていくところがあるので、各市町村が医療費適正化の対策や保健事業などで、少しでも被保険者の方々が健康であるため重症化しないようにする。早期に疾病を発見し、重症化して医療費が高くなるようにする。早いうちから保健事業などに取り組んで、医療費が増加しないようにしていくという状況である。

委員 医療費適正化の対策や保健事業について取り組み、結果を出して、1人当たりの被保険者にかかる医療費を下げることによって保険料も下がることになる。国は保険料が下がっていくことに対して、インセンティブを付与する。今後は疾病に対する予防に力を入れながら、個人医療費を下げっていく努力を各自治体が行なっていく。医療関係も各自治体の取り組みに追随していくという流れになっていくと考えている。

事務局 平成30年度から保険者努力支援制度が始まり、各保険者が医療費の増加抑制に向けて、事業を一生懸命にしていかなければならない制度になり、そのようにするために各事業に取り組んでいるところである。

委員 現状として、事務局が提示した「案2」が、今の着地点としては適正なのではないか。コロナウイルス対応で大変な時期だから保険税を上げるのは難しいということではなくて、市長のあいさつにもあったようにコロナウイルス対応で大変な時期だからこそ、安定した継続可能な医療を確保するための一つの段階として、運営協議会として了承しようとする形が、今の時点でぎりぎり適正な考え方という風に理解している。国民皆保険制度が壊れるとコロナウイルス対応自体も大変なことになるわけなので、国民皆保険制度は守っていかなければならない。安全でなおかつ継続可能な医療を考えた時、ギリギリの線を事務局に提示してもらったと理解している。

委員 前回の運営協議会で年金の支給額が下がっていき、持ち家があると固定資産税もかかってくると生活がだんだん苦しくなっていくことを肌で感じていると話をした。年齢を重ねることで病気になる率も高くなるので、医療費もどんどん使うことになってくる。心配なく病院を受診することができて、少しでも安心して住めるようになるためにある程度の財源は必要と考えている。

(2) 令和3年度射水市国民健康保険事業計画(案)について

- 委員 若い世代に健康診断を受診してもらうためには、もう少し何か工夫が必要になってくるのか。若い年代もたくさん健康診断を受診してもらえればよいと思うが。
- 委員 どの会合でも話に上がってくるのは、空白の世代と呼ばれる若い年代の健康診断の受診率が低いことである。病気になってから大変だという話になるが、腎臓に関しても重症化したら透析になっていくが、ずいぶん前の段階で分かって対処できれば、透析にならずに済んだ場合もある。透析になると大変医療費がかかってくるので、少しでも啓発していこうと医師会も行政とコラボして取り組もうとしているが、なかなか若い年代の受診率の向上には繋がっていない。
- 委員 若い年代には病気にかかって、その後、自分の健康に悪い影響を及ぼすことがイメージできないので、そのような点も若い世代の受診率が低いことの原因の一つのような気がする。
- 委員 パート勤務などで国民健康保険に加入している若い世代は増えてきているのか。我々の世代は正社員として会社勤務するのが当然で、会社で健康診断を受診できたので良かったが、パート勤務などで会社の社会保険に加入できなくて、国民健康保険に加入せざるを得ない若い世代は射水市にたくさんいるのか。
- 事務局 若い世代で新たに国民健康保険に加入されてくる方の中には、例えば、疾病にかかり会社を退職して社会保険を脱退して国民健康保険に加入してから、疾病の治療に高い医療費を使う場合もある。よって、若い世代からの疾病予防の対策が重要だと考えている。国民健康保険に加入している方々がすべて高い医療費を使っているという訳ではなく、健康を維持している方もいる。
- 委員 若い世代の方でも、健康診断で再診という結果になっても、病院を受診しない方が多いような気がする。若い世代の方が病院を受診するような方法があれば良いと思う。

(3) 射水市諮問射保第3号に対する答申(案)について
修正なし

(4) 第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の中間評価について
意見なし

7 閉 会 塚本会長より閉会宣言

射水市国民健康保険運営協議会委員名簿

任 期（3年）令和2年2月1日～令和5年1月31日まで

令和2年2月1日現在

代 表 区 分	氏 名	就 任 年 月 日	関 係 団 体	備 考
被保険者を代表する委員（4名）	石黒 勝久	平成30年5月17日	射水市地域振興会連合会推薦	
	尾上 清逸	平成30年5月17日	射水市地域振興会連合会推薦	
	中田 正憲	令和2年2月1日	射水市老人クラブ連合会推薦	
	岡田 静子	平成30年4月1日	射水市ヘルスボランティア連絡協議会推薦	
保険医又は保険薬剤師を代表する委員（4名）	木田 和典	平成26年5月10日	射水市医師会推薦	
	島多 勝夫	平成29年4月1日	射水市医師会推薦	
	奥村 俊晴	令和1年7月1日	射水市歯科医師会推薦	
	摂津 樹	令和2年2月1日	富山県薬剤師会射水支部推薦	
公益を代表する委員（4名）	二瀬 保邦	令和2年2月1日	射水市民生委員児童委員協議会推薦	会長職務代理者
	塚本 清	平成25年5月26日	いみず野農業協同組合推薦	会長
	亀谷 順子	平成28年4月1日	射水市食生活改善推進協議会推薦	
	森下 恵子	平成30年4月1日	射水市母子保健推進員連絡協議会推薦	